

4) 歯舞漁業協同組合



歯舞漁業協同組合の概要

歯舞地区の概要

3



歯舞地区の概要

4

北海道の漁業協同組合の数 72 漁協

沿海地区漁業協同組合分布図



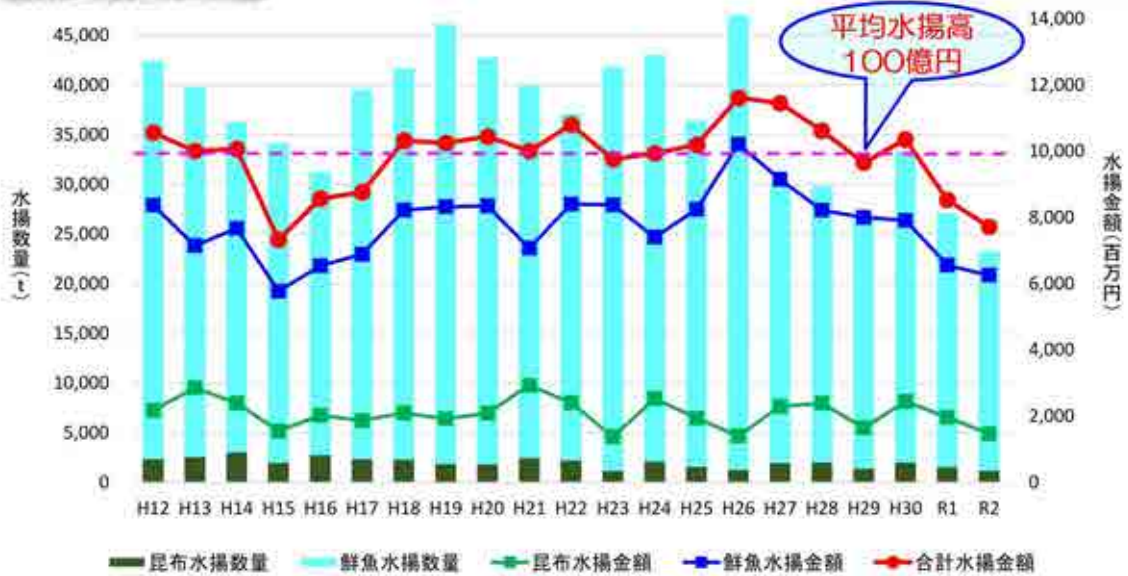
本土最東端
歯舞漁業協同組合

～ 水揚げ数量・金額 ～

5



歯舞漁業協同組合 水揚げ量・金額の推移



歯舞地区の概要

6

北方領土の島々(歯舞群島)

貝殻島灯台

水晶島

中間ライン

1.85km

〔北方領土最前線の根室半島〕

納沙布岬

根室市全体と歯舞地区の人口比較

根室市 (12,470戸) 24,487人

歯舞地区 (645戸) 1,985人



7



歯舞地区マリンビジョン協議会

8

北海道開発局のマリンビジョン21構想が発表された
平成16年に専門的組織づくりを開始

協議会の様子



発表結果への質疑応答



グループ討議の様子



「最東端の海からのメッセージ」 をキャッチフレーズに...



これら4つの専門分野に分かれて活動を展開



都市漁村交流・賑わいのある漁村地域づくり





14

渚泊推進対策事業について

根室地域(歯舞地区)マリンビジョンの活動を活性化させるため、農泊推進事業を活用し、平成29年・30年に担当職員による先進地視察と都市漁村交流誘致活動を行い、引き続き、組合単独事業にて誘致活動を継続している。

都市・漁村交流事業誘致活動(東京都・滋賀県)

交流事業推進のため、根室市への観光ツアー実績のあるクラブツーリズム(株)、北方領土学習において、近畿ブロック研修会に参加し、誘致講演活動を実施した。



クラブツーリズム(株)東京
における誘致活動

北方領土返還要求運動県民会議
近畿ブロック 誘致講演
(京都府・兵庫県・和歌山県・滋賀県・
奈良県・大阪府)



農泊推進対策事業による活動内容を 紹介するためのパンフレット作成



渚泊が目指すもの

- ・漁業振興と観光振興による地域活性化
- ・渚泊をビジネスとした将来的な地域所得向上



クラブツーリズム(東京)ツアー客受入

直販所において、昆布製品の販売見学を行い、
産地市場での市場見学・セリ見学を実施し、歯舞地区の魅力を
ツアー客にアピールした。



直販所見学

産地市場見学



北方領土青少年現地視察(宮崎県)

組合食堂朝食受入



市場見学



昆布倉庫見学



ウニセリ見学



AI

北方領土青少年現地視察(鹿児島県)

組合食堂朝食受入



昆布倉庫見学



市場見学



鹿児島県立大学
KAIKO
OMAI
通・関係

北方領土青少年現地視察(岐阜県)

岐阜県の中学生在が歯舞地区の漁業者宅へホームステイし、市場セリ見学、コンブ加工場見学を実施した。



産地市場セリ見学



コンブ加工場見学



組合食堂朝食受入



漁家民泊受入



中央大学 FLP 根本ゼミ 受入

中央大学生がインカレ根室・大学等研究モデル事業において歯舞地区の漁業者宅へホームステイし、市場セリ見学、昆布倉庫を見学し、歯舞地区マリンビジョン協議会の取り組み内容についてのヒアリングを実施した。



産地市場セリ見学



こんぶ倉庫見学



マリンビジョン取り組み説明



漁家民泊受入



東京海洋大学「沿岸地域社会調査」2019受入

東京海洋大学生が2016年に引き続き、2回目となる「沿岸地域社会調査2019」において、歯舞地区マリンビジョン協議会の取り組み内容を主とした受入れを実施。

産地市場セリ見学



こんぶ倉庫見学



全体講義「北方領土学習」



根室市長 表敬訪問

歯舞地区マリンビジョン協議会
HOKKAIDO
ABOMAI
北海道・歯舞

東京海洋大学「沿岸地域社会調査」2019受入

各チームによる、地域調査

漁業史・水産史



歯舞組合の歴史



マリンビジョン活動の取り組み



根室市 観光事業



ABOMAI

東京海洋大学「沿岸地域社会調査」2019受入

あさり潮干狩り



あさり潮干狩り(集合写真)



納沙布岬 高碗達之助先生 顕彰碑



東京海洋大学
BOMAI
北海道・釧路

東京海洋大学「沿岸地域社会調査」2019受入

漁協女性部長との意見交換



北方領土 学習



昆布漁家訪問



昆布採取 疑似体験



東京海洋大学
BOMAI
北海道・釧路

東京海洋大学「沿岸地域社会調査」2019受入

歯舞漁協食堂での「朝食」



歯舞漁協食堂での「夕食」



東京海洋大学
BOMAI
北海道・歯舞

農泊推進対策事業を活用した受入実績(平成29年度)

月日	団体名	人数(人)
7月12日	クラブツーリズム(名古屋)	30
7月28日	北方領土青少年現地視察(鳥取県)	20
8月 3日	北方領土青少年現地視察(鹿児島県)	21
8月21日	北方領土青少年現地視察(岐阜県) 漁民泊	28
8月27日	クラブツーリズム(首都圏)	20
9月 5日	北方領土ゼミナール	45
9月15日	全国地域婦人団体連絡協議会	15
10月 4日	クラブツーリズム(関西)	11
10月 6日	クラブツーリズム(東京)	28
12月25日	北方領土青少年現地視察(宮崎県)	21
1~4月	本土最東端 予約数 329名	145
11~12月	パノラマクルーズ 実績 145名	
	(内 外国人 60名)	
合計		384

東京海洋大学
BOMAI
北海道・歯舞

農泊推進対策事業を活用した受入実績(平成30年度)

月日	団体名	人数(人)
3月26日	北方領土青少年現地視察(滋賀県)	23
5月11日	クラブツーリズム(名古屋)	32
7月31日	北方領土青少年現地視察(兵庫・岐阜県)	42
8月20日	北方領土青少年現地視察(岡山県)	23
9月17日	中央大学F L P根本ゼミ 漁民泊	8
10月13日	クラブツーリズム(東京)	31
10月22日	クラブツーリズム(東京)	40
10月24日	クラブツーリズム(東京)	25
10月29日	クラブツーリズム(東京)	36
11月10日	クラブツーリズム(東京)	40
11月22日	クラブツーリズム(東京)	42
11月26日	クラブツーリズム(東京)	24
1~4月	本土最東端 予約数 294名	
11~12月	ハノラマクルーズ 実績 206名 (内 外国人 69名)	206
合計		572

 8259
00
VAI
17

農泊推進対策事業を活用した受入実績(令和元年度)

月日	団体名	人数(人)
4月20日	クラブツーリズム(東京)	20
5月21日	クラブツーリズム(東京)	30
7月13日	全国地域婦人団体連絡協議会	17
7月28~31日	東京海洋大学 沿岸地域社会調査	24
7月30日	北方領土青少年現地視察(島根県)	20
8月 3日	北方領土青少年現地視察(富山県) 漁民泊	21
8月7~9日	大阪府箕面自由学園高等学校	120
8月17日	北方領土青少年現地視察(広島県)	21
8月19日	北方領土青少年現地視察(岐阜県) 漁民泊	24
8月21日	北方領土青少年現地視察(香川県)	21
8月21日	北方領土青少年現地視察(高知県) 漁民泊	23
10月15日	道新ぶんぶんクラブ	31
10月29日	ワールド航空サービス	42
10~11月	クラブツーリズム(東京) 7回	215
12月26日	北方領土青少年現地視察(宮崎県)	21
1~4月	本土最東端 予約数286名	
11~12月	ハノラマクルーズ 実績 162名(内 外国人 50名)	162
合計		812

 8259
00
VAI
17

全国各地における講演活動

歯舞地区マリンビジョン協議会の活動内容や、重点的に取り組んでいる漁泊について、全国各地での講演会において発表し、積極的な情報発信を行っている。

漁協を核とした漁村地域振興に関する講演会(東京海洋大学・中央大学)



「都市と漁村の交流に向けた
取組みを学ぶ講演会」(札幌市)



NPO法人マリンネットワーク 講演会

5月25日

～ブランド化とトレーサビリティについて～



ブランド化された水産物(ロゴ)

札幌市で行われた講演会では、「歯舞産水産物のブランド化とトレーサビリティ」についての講演を行いました。

事例紹介として、「金たこ」がブランド化されるまでの経緯及びトレーサビリティシステムについて紹介し、歯舞産水産物は「安全・安心である」という証明とシステム導入に向けた取り組みについて情報発信しました。

「金たこ」は

歯舞漁業協同組合の登録商標です。



「金たこ」は、10kgのタコを漁業者が自らが活状態を選別し、餌をはかせるため沖に一晩おいてから陸揚げし水温4℃の畜養水槽で鮮度保持を行うなど、600km、10時間の輸送距離にも耐えることが出来る、厳選されたタコです。

※トレーサビリティシステムとは、水産物の生産から最終消費までの過程を追跡できる仕組みのこと



32 HOKKAIDO HABOMAI
北海道・歯舞

高碇達之助先生を語り継ぐ会 講演会

6月14日

～ 昆布漁業と貝殻島安全操業について ～



高碇達之助先生肖像画

高碇達之助先生の功績

大日本水産会の会長であった高碇達之助先生は、昭和34年8月、貝殻島周辺で何百隻・何千人もの漁民が旧ソ連に拿捕・抑留されるのを聞き、以後、幾度モスクワに足を運び交渉を重ね、昭和38年6月10日、貝殻昆布協定を締結した。地元漁民の大恩人である。



昆布漁業の概要説明（伊藤専務）

高碇達之助先生 顕彰碑



貝殻昆布一斉出漁



大阪府高槻市で行われた講演会では、歯舞漁協組合員の約7割が従事し、太宗漁業である昆布漁業の概要及び現状の他、貝殻昆布操業関係として、高碇達之助先生が貝殻昆布操業を誕生させるまでの苦悩や、金沢幸雄氏による貝殻再開交渉について情報発信しました。



33

東京海洋大学・中央大学での講演

6月19日・20日

～ 歯舞漁協の概要及びマリンビジョン活動等について ～

東京海洋大学への講演では、高碇達之助先生と歯舞漁業協同組合の繋がりについて紹介しました。



東京海洋大学での講演（伊藤専務）



中央大学での講演（伊藤専務）

中央大学への講演では、北方領土問題と歯舞地区マリンビジョン協議会活動について紹介しました。



34

都市と漁村の交流に向けた取り組みを学ぶ講演会

10月15日



農泊推進活動の紹介（中村参事）

～ 農泊推進活動の取組みについて ～

札幌市で行われた講演会では、農泊推進活動として、旅行会社や北方領土県民会議と連携した市場・直販所見学や組合食堂での魚食体験等、歯舞の「食」・「漁業」・「自然」の中にある多くの魅力を情報発信しました。

市場見学



直販所見学



秋の朝市



パノラマクルーズ



地曳き網



JFグループ役職員研修会 販売事業コース

11月7日

～ 優良衛生品質管理市場・漁港認定取得の取組について ～

本講演会では、現在建設中で令和3年以降の供用開始を予定している新施設の「衛生管理機能、防災・減災機能、駐車場機能、都市漁村交流機能」の4つの機能の目指す姿を紹介し、徹底した品質・衛生管理を行い「優良衛生品質市場・漁港認定」の取得に向けての取り組み事項について情報発信しました。



衛生管理型市場他 将来構想図

歯舞漁港の将来像として、

人工地盤・高度衛生管理型市場・市場食堂等の整備により衛生管理体制の強化による「歯舞ブランド」の更なる評価向上と、都市部との交流人口増に対する受け入れ体制を構築していく。



建設中の新施設（屋根付き岸壁）



事業実施による効果

協議会の取り組みとして、

- ・水産物のブランド化
- ・漁民泊の受入れ
- ・地元催事の開催
- ・遊覧船観光の運航
- ・水産学習
- ・北方領土県民会議
- ・旅行会社のツアー受入れ

等を実施。

道内外へ情報発信

全国各地から講演会の依頼が増加

旅行代理店を通じての観光客や
学生の研修旅行等、
受入人数の増加により
交流人口の拡大が図られ、
地域の活性化に寄与

農泊推進対策事業を活用した受入実績



講演会は、単に歯舞の魅力を発信する為だけの場ではなく、各地域の農泊活動に取り組む団体との意見交換の場として、当協議会にとっても大変貴重な場であると実感しております。

これからも、地域・関係者の皆様、SNS等を通じて応援してくださっている皆様のご協力をいただきながら、マリンビジョン活動を継続・拡大して展開して参ります。



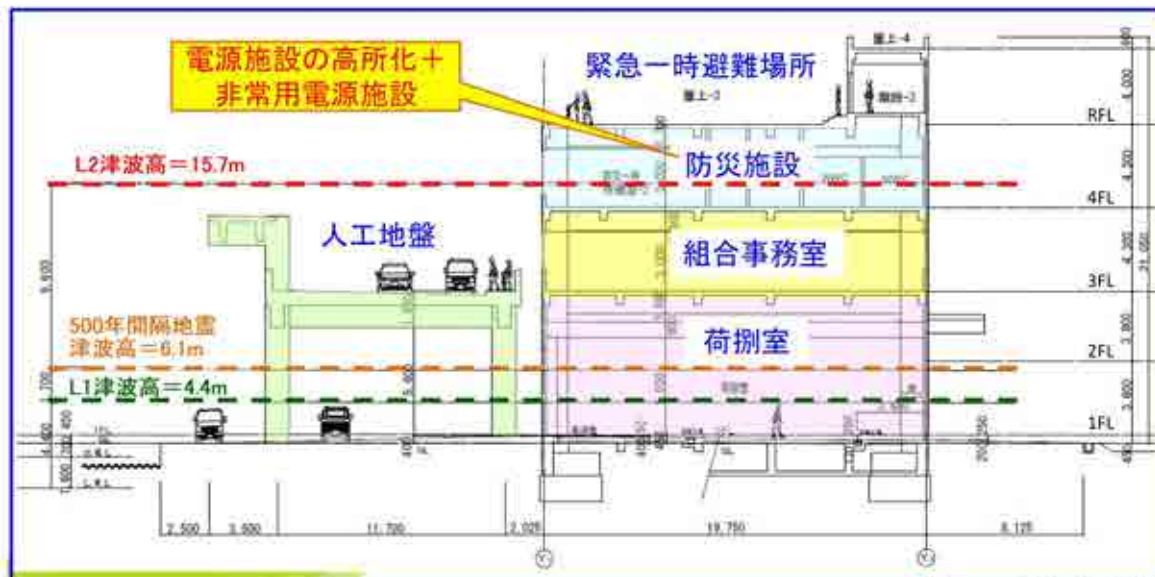
Facebookページ 受信箱 お知らせ インサイト 投稿ツール

38



市場・組合事務所・防災施設 断面図

39



HOKKAIDO
HABOMAI
北海道・歯舞

歯舞漁港の将来像

40

人工地盤・高度衛生管理型市場・市場食堂



人工地盤・高度衛生管理型市場 建設状況

41



函館地区マリンビジョン ～キャッチフレーズ～

最東端の海からのメッセージ
継続は、力なり！

日本本土最東端の漁村に課せられた
使命を、マリンビジョン活動を通じ
果たして参りたい

42

ご清聴ありがとうございました。



5) 株式会社ゲイト（須賀利渚泊推進協議会）

須賀利渚泊推進協議会での交流事業

2021年3月8日 (株)ゲイト 五月女圭一

ステージ

1. 場所：三重県尾鷲市須賀利町
2. 地域人口：2017年242人 → 2020年200人
3. 平均年齢：2017年71歳 → 2020年74歳
4. 高齢化率85%
5. 見えるもの：

道路（昭和57年から開通）・防潮堤・上水道・電気・ポスト・公民館・コミュニティセンター・お寺1・神社1・家300（うち空き家150）・小売商店4・床屋2・カフェ1・小学校1（休校中）・中学校1（休校中）・漁協事務所1・消防車1・銀行（週1で来る）・バス（朝一だけ病院まで直通）

ポイント

1. 地域を維持するための新たな人材誘致・企業誘致の仕組み
 - ・ 少子化は終了、高齢化は続く
 - ・ 活性化じゃなく、存続
 - ・ 企業と教育
2. 小型定置網での新規参入から地域協議会での合意形成
 - ・ 魚泥棒かテロリスト
 - ・ 話をする場がない
3. 関係人口づくりやイノベーションのフィールドとしての活用
 - ・ 角度をかえて地域価値を見直す
 - ・ 過去の情報掘り起こしてお祭り復活

2020年
2月11日
えびす祭り



2020年
2月11日
夜の演芸



昭和46年から
昭和59年ごろ

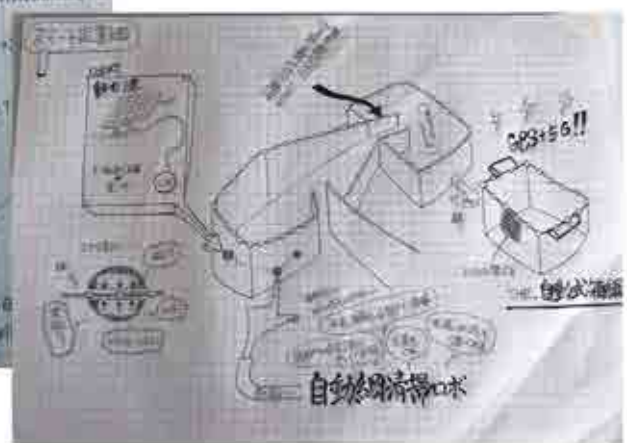




みえみえ漁業の全体像



自動定置網清掃ロボット



漁港漁村活性化シンポジウム参加者アンケート

*必須

所属・職業*

- ☐ 漁協
- ☐ 漁業者
- ☐ その他水産業関係者
- ☐ 市町村
- ☐ 都道府県
- ☐ 官公庁
- ☐ 教育機関
- ☐ コンサルタント
- ☐ 学生
- ☐ その他: _____

当シンポジウムを知った経緯*

- ☐ 知り合いからの紹介
- ☐ 水産庁からの案内
- ☐ 都道府県からの案内
- ☐ 市町村からの案内
- ☐ 他関係機関からの案内
- ☐ その他: _____

参加の動機（複数選択可）＊

- ☐ 事例紹介の地域に関心があったから
- ☐ 登壇者に関心があったから
- ☐ 新たに交流事業を始めたいから
- ☐ 現在行っている交流の取組内容を充実させたいから
- ☐ その他: _____

良かったこと（複数選択可）＊

- ☐ 事例紹介が参考になった
- ☐ 有識者の話が参考になった
- ☐ 資料が見やすかった
- ☐ 構想の内容が参考になった
- ☐ ウェビナー形式で参加しやすかった
- ☐ その他: _____

今日の感想、ご質問、ご自身の地域での困りごと等、ご自由にお書きください。
質問への回答をご希望の方は、連絡先（メールアドレス）もあわせてご記入ください。

回答を入力

ご協力ありがとうございました。

送信

